

八王子市

<http://asp.db-search.com/hachioji-c/dsweb.cgi/documentframe!!guest05!!18170!!1!!1,-1,1!3360!218670!1,-1,1!3360!218670!4,3,2!5!6!235312!!3?Template=DocOneFrame>

議員提出議案第 14 号

発達障がいなど文字を認識することに困難がある児童生徒のための
マルチメディアデイジー教科書の普及促進を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり会議規則第 14 条の規定により提出します。

平成 22 年 6 月 28 日

提出者	八王子市議会議員	五 間	浩
賛成者	八王子市議会議員	近 藤	充
	同	小 林	信 夫
	同	井 上	睦 子

八王子市議会議長
市 川 潔 史 殿

発達障がいなど文字を認識することに困難がある児童生徒のための
マルチメディアデイジー教科書の普及促進を求める意見書

平成 20 年 9 月に「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律」、いわゆる「教科書バリアフリー法」が施行された。

この「教科書バリアフリー法」の施行を機に、平成 21 年 9 月より、(財)日本障害者リハビリテーション協会(リハ協)がボランティア団体の協力を得て、通常の教科書と同様のテキストと画像を使用し、デジタル化対応することで、テキスト文字に音声をシンクロ(同期)させて読むことを可能にした「マルチメディアデイジー版教科書」(デイジー教科書)の提供を始めた。

また、文部科学省においては平成 21 年度より、「デイジー教科書」などの発達障害等の障害特性に応じた教材の在り方やそれらを活用した効果的な指導方法等について、実証的な調査研究が実施されている。

現在、「デイジー教科書」は、文部科学省の調査研究事業の対象となっているが、その調査研究段階であるにもかかわらず、平成 21 年 12 月現在で約 300 人の児童生徒に活用され、保護者などから学習理解が向上したとの評価がされるなど、デイジー教科書の普及推進への期待が高まっている。

しかし、「デイジー教科書」は教科書無償給付の対象となっていないことに加えて、その製作は、多大な時間と費用を要するにもかかわらず、ボランティア団体頼みであるため、必要とする児童生徒の希望に十分に応えられない状況にある。実際に、リハ協が平成 21 年度にデジタル化対応したデイジー教科書は小中学生用教科書全体の約 4 分の 1 に留まっている。

このような現状を踏まえると、まず教科用特定図書等の普及促進のための国予算の更なる拡充が求められるところだが、平成 21 年度の同予算が約 1 億 7,200 万円に対し、平成 22 年度は 1 億 5,600 万円と縮減されており、これらの普及促進への取り組みは不十分であると言わざるを得ない。

したがって、八王子市議会は政府及び文部科学省に対し、必要とする児童生徒、担当教員等に「デイジー教科書」を安定して配布・提供できるように、その普及促進のための体制の整備及び必要な予算措置を講ずることを要望する。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

平成 22 年 6 月 28 日

議 長 名

┌
内閣総理大臣 |
総務大臣 | あて
文部科学大臣 |
└